



祝！第25回 和白干潟まつり

11月17日(日)

11:00~15:15



♥ラムサール条約登録をめざして♥

今年もラムサール宣言を出します！
福岡市長のメッセージが届きます！

プログラム

開会式	11:00~11:20
バードウォッチング	11:20~12:00
ネイチャーゲーム	12:00~12:40
植物観察	12:40~13:20
干潟の生物観察	13:20~14:00
コンサート・マジック	12:00~14:15
ミニシアターほか	
一言アピール	14:15~14:30
手をつないで	14:30~14:40
干潟の掃除	14:40~15:00
写真展・パネル展	11:20~15:00
模擬店・バザー	11:30~15:00
閉会式・ラムサール宣言	15:00~15:15
(後片付け・反省会)	15:15~16:00

会場 和白干潟・海の広場

(東区和白4丁目海岸) 小雨決行 駐車場なし

主催/ 和白干潟まつり 実行委員会

[構成団体] 和白干潟を守る会、

グリーンコープ生協ふくおか 福岡東支部

協賛団体/ 日本野鳥の会福岡、博多湾会議

後援/ 西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、
読売新聞西部本社、九州朝日放送、RKB毎日放送、
テレビ西日本、TVQ九州放送、FBS福岡放送、
NHK福岡放送局

干潟で遊ぼう

(お問合わせ) 今村・092-942-5282
(お申込み) 田中・092-606-5588

模擬店・バザーの出店希望の方へ

イベント・模擬店・バザーの出店希望は、
10/25までに 実行委員会にお申し込みください。
干潟まつり実行委員会で決定します。

参加される皆さん、長靴・敷物は持ってきてね！

賛助金とカンパのご協力お願い

第25回和白干潟まつりを成功させるために、
皆様のご協力をお願いいたします！！

1. 賛助金として企業・団体で一口5,000円を、
個人は一口1,000円のカンパをお願いします。
何口でもかまいません。(賛助金やカンパは、
干潟まつりの運営資金や保険料などにあてます)
2. 他の会の機関誌にも干潟まつりの案内を掲載
したり、チラシの配布にもご協力下さい！

会場整備応援者募集!!

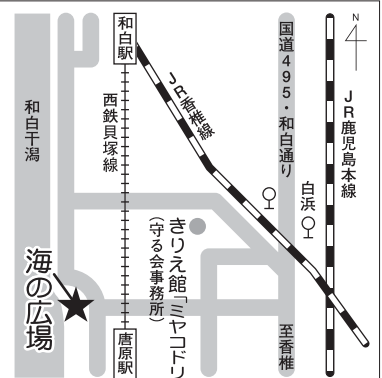
11/16(土)15時~ 会場整備

当日11/17(日)9時~ テント設営

応援お願いしま~す

交通

- 西鉄貝塚線
唐原駅より
徒歩5分
- 西鉄・JR和白駅
より徒歩10分
- 西鉄バス
白浜バス停より
徒歩5分



賛助金の送り先: 和白干潟を守る会
郵便振替 01720-4-23860

8月18日(日) 和白干潟の海底湧水観察会報告

(高田 将文)

今年5月にNHKTVで、和白干潟には海底湧水が湧き出ていて海水を浄化しているということを知りました。研究されている新井章吾先生のお話をぜひ聞きたいという私たちの願いがようやく実現しました。最高気温37度という猛暑日の日盛りではありませんでしたが、新しい知識獲得に皆さんとても熱心で、すばらしい観察会となりました。



干潟で見られる滞（みお）の流れの地下には、その何倍もの汽水～海水（塩水）が沖に向かって流れているというお話を聞きました。この地下水には（海水に溶け込むことが可能な酸素量を100%とした時に）

90%以上の酸素が含まれており、そのおかげでアサリや底生生物が生息していけるそうです。湧水は沿岸域にしみ込んだ淡水ではなく、塩水です。沿岸域でしみ込んだ淡水地下水が海岸まで移動してその圧力によって、博多湾や海の中道地下の砂層にある地下水が押し出されて、海底から海水が湧き出ていると考えられるとのことでした。地表に降った雨、家庭で庭にまいた水なども地面にしみこみ、湖沼や川だけでなく、最終的には海の底から湧き出します。地下に水が染みる時に有機物がバクテリアに分解され、有機物が直接海に流れ込むのを少なくして、水質の改善に役立っているそうです。海底湧水は酸素を多く含むので、底質の硫化を防ぎ、砂泥中のバクテリアや鞭毛藻を育て、水質を浄化しています。無機体の栄養塩が二枚貝などの餌になる珪藻を育みます。貝や底生生物が珪藻や有機物などを食べて育つので海水を浄化します。また人が潮干狩りでアサリなどを干潟から持ち出すことでさらに海水を浄化するというすばらしい自然の循環の仕組みに感動しました。参加者は31名でした。（今村）

国際ビーチクリーンアップ参加

国際ビーチクリーンアップは世界的規模で一斉にゴミデータを調査する催しです。9月28日のクリーン作戦では、海岸のゴミを1時間ほど拾い集めて、35種類に分別し集計しました。和白干潟では、プラスチック類のゴミが最も多かったです。昨年と同じようにアオサを回収する班と、人工ゴミを回収する班に分かれて、44名が参加し、152袋のゴミを回収しました。（田辺）



和白干潟の水質・砂質調査結果

下の表は2013年4月から2013年9月までの水質調査と砂質調査結果です。水質調査についてはほぼ例年どおりでした。砂質調査については、例年のように夏場にかけて薄くなっています。（表層酸化層が厚いほど砂質が良いこととなります。）（山之内）

水質調査結果 (2013年4月～2013年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
リン酸イオン (PO ₄)	mg/l	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	5	5	8	5	7	10
亜硝酸 (NO ₂)	mg/l	0.005	0.005	0.01	0.005	0.005	0.005
透視度	cm	45	22	27	26.5	64	100

砂質調査結果 (2012年4月～2012年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
10㍍地点 表層酸化層の厚さ	mm	3	6	5	3	2	3
還元層の黒色度	—	10	10	8	10	9	9
150㍍地点 表層酸化層の厚さ	mm	11	9	7	5	3	5
還元層の黒色度	—	10	9	9	9	9	10

和白干潟の観察会のようす

(今村 恵美子)

7月21日(日)夏休み!和白干潟の生きものやハマボウを見る会



「和白干潟保全のつどい」の主催で、大人31名と子ども26名が参加しました。35.5度という猛暑の中、午後2時から開催しました。「牧の鼻」の下のハマボウの花が年を経るごとに沢山の鮮やかな黄色い花を咲かせています。山本廣子さんによる和白干潟の紹介から始まり、観察ポイントを海の広場周辺 唐原川左岸 牧の鼻ハマボウへと移動しました。講師の藤井さんが貝とカニを次々に見せていきます。なかでもの所でのシオマネキとウモレベンケイガニの出現には驚きました。子どもも大人も生きものたちに接すると楽しそうに笑顔があふれます。「こんなにカニが多いとは思わなかった。」と参加者の声です。沿岸のハマツナやハマニンニクなどの植物も

見ながら歩きました。観察マップで参加者は生き物をチェックしながら、楽しみました。ハマボウの花は満開を少し過ぎたくらいでしたが、まだまだたくさんの花が咲いていました。ハマボウの親木の周りの大きさは24.4m、高さは約5m、花の数は約750個でした。また、株の数は約80本になっていました。牧の鼻の樹林は多種の木々が生き茂り「カラスザンショウの実が鳥たちの好物です」と田中さんのお話でした。低くはうように渚に伸びているタブの木の太枝にぶらさがって、子どもたちは大喜びでした。多くの生きものたちを観察するたびに、この和白干潟は「貴重な宝庫」だと確信します。最後は清掃をして周囲はすっかりきれいになりました。熱中症が心配されましたが、一人も熱中症の人は出ませんでした。夏休みの子供たちの心に、生きものにあふれた和白干潟の様子が残ることでしょう。読売新聞「かわらばん」の同行取材がありました。(河上)



ハマボウ

9月17日(火)筑陽学園中学校の和白干潟校外理科学習



今年で21回目を迎える筑陽学園中学校3年生の校外理科学習は、快晴に恵まれて2クラス75名の生徒と4名の先生が参加されました。今年も海の広場にはキンエノコロが黄金色に輝き、午前は干潟の話と野鳥観察、干潟の生き物観察を行いました。昼食は広場でお弁当を広げ、午後は9班に分かれて干潟の生物調査を行い、5名の和白干潟自然観察ガイドがサポートしました。野鳥観察ではホウロクシギ、チュウシャクシギ、オオソリハシシギ、オカヨシガモ、マガモ、ダイサギ、コサギなど秋の渡り鳥も見ることができました。アサリを手で掘って、浄化実験もしましたが、特に今年

は、和白干潟には海底湧水が出ていて貝や底生生物の干潟の浄化作用に重要な役割を果たしていることがわかったというお話もしました。各班の調査では、岩場でスジエビモドキ、クボガイなど新たに見つかった種もあり、たくさんのトビハゼやハクセンシオマネキをみたり、密度の濃いコメツキガニの群れや、アオサの堆積状況に驚いたり、アキノミチヤナギやハマサジの花を見たり、和白干潟の自然の豊かさを学んだ一日でした。(今村)



和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます

8/28「キャノンマーケティングジャパンKK」より寄付金を頂きました。

和白干潟のクリーン作戦にも社員の方々やご家族が参加されています。

たくさんのご支援に感謝申し上げます！



和 白 干 潟 の 自 然 だ よ り

(山本 廣子)

イソホウキギ アカザ科。砂浜に生える1年草。茎は下部から横に枝が張っていて、高さは0.5~1m。葉は細くて3本の葉脈が目立つ。花期は8~10月。上部に小さな目立たない花が咲き実になる。がくは星形をしている。和 白 干 潟 沿 岸 では 唐 原 川 河 口 から 和 白 川 河 口 ま で と 雁 ノ 巣 海 岸 の 砂 浜 付 近 に、 広 範 囲 に 見 ら れ ま す。 群 落 を 作 り 紅 葉 し ま す。 ハ マ マ ツ ナ や ホ ソ バ ノ ハ マ ア カ ザ な ど と と も に 和 白 干 潟 の 秋 を 彩 る 植 物 の 一 つ で す。 イ ソ ホ ウ キ ギ は、 ホ ウ キ ギ が 野 生 化 し た と も い わ れ て い ま す。 別 名 イ ソ ボ ウ キ。



イソホウキギ

ヤマトオサガニ

オサガニ科。甲幅40mm。甲羅は横長で四角い。眼柄が長く、干潟で細長い目を立てる。浅瀬に浸かって眼だけを出していることもあります。マッチ棒のような眼は外側に倒して、くぼみにおさめます。20年前の和 白 干 潟 で は、 唐 原 川 河 口 が 広 く 泥 質 だ っ た た め に ヤ マ ト オ サ ガ ニ が た く さ ん 生 息 し て い ま し た。 し か し 沖 合 の 人 工 島 工 事 着 工 以 降 は 唐 原 川 河 口 域 の 砂 質 化 が 進 み、 ヤ マ ト オ サ ガ ニ の 生 息 域 は 狭 め ら れ て い ま す。 雁 ノ 巣 の 干 潟 や 奈 多 の ク リ ー ク に は 以 前 と 同 じ よ う に、 た く さ ん 生 息 し て い ま す。 私 は こ の ヤ マ ト オ サ ガ ニ の ム ー ビ ン グ が 好 き で す。 大 き な は さ み で ダ ン ス を し て い る よ う で す。



ヤマトオサガニ

セイタカシギ

セイタカシギ科。全長約37cm。主として旅鳥だが国内には場所により繁殖したり越冬するものもある。和 白 干 潟 では ま れ な 旅 鳥 と し て 訪 れ て い ま す。 今 年 は 春 と 秋 の 渡 り の 時 期 に、 唐 原 川 河 口 に 訪 れ ま し た。 白 っ ぽ い 体 と 細 長 く て 赤 み の あ る 脚 が 美 し い 鳥 で す。 初 め て 見 た と き に は、 余 り に も 細 く 長 い 脚 が シ ョ ウ ガ の 茎 の よ う に 見 え ま し た。 小 魚 や カ ニ な ど を 捕 っ て い ま す。 海 水 域 で も 淡 水 域 で も 見 ら れ ま す。 私 は 香 港 マ イ ボ 干 潟 の ク リ ー ク で 見 た 100 羽 ほ ど の 群 れ の 美 し い セ イ タ カ シ ギ た ち が 忘 れ ら れ ま せ ん。



セイタカシギ

秋の和 白 干 潟 の し ぜ ん 情 報

アシ原：海の広場前ではたくさんのキンエノコロが金色の穂を付けて風にゆれている。アシに穂が付き秋の気配。センニンソウの白い花が木々を覆っている。9月にハマサジの花が咲き、10月にウラギクの花が満開。ハママツナが紅葉し、樹林帯のハゼやナンキンハゼが紅葉。アキグミなどの赤い実がみのる。



キンエノコロ

干 潟：アナアオサは8月頃から沖合いで繁殖。北西の季節風が吹き出す11月頃から沿岸に寄せらる。アオサと共に、ホトトギスガイ、ハマトビムシなどが増え、ダイサギやアオサギが多くなり目立つ。アオサはヒドリガモなどの餌となるが、多すぎて腐りヘドロ化して干潟や生き物たちを傷める。暖かい晴れた日には干潟のカニ達が多数観察される。

水 鳥：10月には淡水ガモが飛来。クロツラヘラサギも訪れる。11月には越冬するシギやカイツブリやカモメ類も渡ってくる。12月にはツクシガモやズグロカモメが飛来する。今夏はミヤコドリが2羽越冬して8/26まで確認され、また9/10と9/11には1羽が見られている。夏期には香椎海岸の岩場でよく観察された。

国指定和白干潟・多々良川河口鳥獣保護区公聴会で意見陳述

9月4日、「国指定和白干潟・多々良川河口鳥獣保護区指定に係る公聴会」が、福岡合同庁舎にて開催されました。和白干潟を守る会山本代表はじめ福岡県、福岡市、地元農協、地元漁協、県猟友会、日本野鳥の会の7名の公述人が意見を述べ、守る会から5名が傍聴しました。和白干潟が国の鳥獣保護区に指定されて10年の期限を迎えたため、指定を延長し多々良川河口を県の保護区から格上げして指定する計画案の賛否を問うもので、全員賛成しました。守る会は山本代表が熱意を込めて、将来的に早期にラムサール条約登録の前提となる「特別保護区」昇格を要望していることを強調し、一応保護区指定延長には賛成しました。しかし環境省のまとめでは、特別保護区に指定されると開発計画の支障になることを懸念する福岡市の意向を強く反映し、守る会の意見は今後の課題として先送りされました。山本代表はこのほか、市民への周知を図るための堅固な看板の設置を要望しましたが、これについては予算が無い、市民参加の地元懇談会の開催については、個別に相談に応じる、市民の意見はパブリックコメントで、などという回答で要望とは程遠いものでした。



参院選候補者に公開アンケート実施、HPに掲載

7月に行われた参議院選挙福岡選挙区の立候補者に、和白干潟についての公開アンケートを行いました。ネット選挙解禁といわれた選挙で、回答はホームページに掲載し、投票の参考にさせていただきました。一人でも多くの政治に携わる方たちに和白干潟のラムサール条約登録への理解、協力をいただきたい、市民の政治への関心も高めたいと企画したものです。

質問項目は 環境問題でこれまで取り組んだこと 開発と環境保全の関係について 和白干潟の自然環境を次世代まで残す必要性について 和白干潟のラムサール条約登録について 和白干潟のラムサール条約登録への協力について、の5項目でした。6人の候補者全員に送りましたが、3名から回答がありました。回答があっただけの候補者も和白干潟の自然環境は次世代に残すべきで、ラムサール条約登録に向けて協力すると回答しています。この内の一人が当選されました。この試みは投票日前日の朝日新聞夕刊コラムにも取り上げられました。

佐賀市は東与賀干潟のラムサール条約登録に本腰

8月佐賀市は東与賀海岸沖に広がる有明海の干潟を2015年のラムサール条約登録を目指すと発表しました。「生物多様性維持の重要条件」9基準のうち6基準をクリアしており、環境省に申請を働きかけ候補地にふさわしいと説明を受けているそうです。市長は観光など地域振興に効果的と判断、既にプロジェクト会議を設置、対象範囲や周辺自治体などと協議に入るとのことです。

気が付いたらあなたも電話してください!

海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時

092-282-7145(港湾局維持課)

092-674-4605(博多港埠頭KK)

沖のアオサをとってほしい時

092-282-7153(港湾局環境対策課)



弱った野鳥を見つけた時

092-513-5611

092-643-3367

福岡県筑紫保健福祉環境事務所(地域環境課)

福岡県環境部自然環境課野生生物係

** お 願 い **

干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう!

とても危険です。

干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう!

(ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止)

犬のフンの始末は飼い主がしましょう!



2013年6月

- 6/2 (日) 第16期和白干潟の自然観察ガイド講習会
- 6/3 (月) 香椎保育所さくら組の和白干潟観察会
- 6/8 (土) 自然観察ガイド育成講座
- 6/9 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 6/10 (月) 和白干潟通信107号編集会議(6/24も)
- 6/11 (火) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 6/13 (木) 「和白干潟保全のつどい」参加
- 6/16 (日) ラブアースクリーンアップ参加の和白干潟クリーン作戦
- 6/22 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 6/25 (火) ラムサール条約登録街頭署名活動(香椎駅周辺)

2013年7月

- 7/2 (火) 和白小学校4年生の和白干潟観察会
- 7/9 (火) 和白干潟通信107号発送会
- 7/11 (木) イオン黄色いレシートキャンペーン
「和白干潟保全のつどい」参加
- 7/13 (土) 糸島市「第16回はまぼう夢まつり」で講演
「山・川・海の流域会議」参加
- 7/14 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 7/21 (日) 和白干潟の生きものやハマボウを見る会(保全のつどい)
- 7/23 (火) 救急講習会
ラムサール条約登録街頭署名活動(JR福工大前駅周辺)
- 7/26 (金) 和白干潟のRKBラジオ塔改修工事説明会
- 7/27 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 7/28 (日) 海上安全指導パトロール(エコパークゾーン水域利用連絡会議)
- 7/29 (月) 国指定和白干潟・多々良川河口鳥獣保護区指定の縦覧

2013年8月

- 8/1 (木) 「平成25年度第1回エコパークゾーン水域利用連絡会議」参加
- 8/4 (日) 秋期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 8/8 (木) 「和白干潟保全のつどい」参加
- 8/11 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
イオン黄色いレシートキャンペーン
- 8/18 (日) 和白干潟の海底湧水観察会
- 8/19 (月) 和白干潟臨時クリーン作戦
- 8/22 (木) 秋期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)
- 8/24 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 8/27 (火) 第25回和白干潟まつり第1回実行委員会
ラムサール条約登録街頭署名活動(JR福工大前駅周辺)



干潟のつばやき「干潟が変わってきた！」

チゴガニは甲羅の幅が1cmのスナガニ科のカニで、砂泥干潟に生息しています。白いハサミと胸の明るい青色が特徴的で、干潟でも目立ちます。このチゴガニは、以前は唐原川河口にたくさんいましたが、最近は見かけることが少なくなりました。しかし河口から200メートルほど上流の橋の近くにいました！！橋脚の近くの護岸に泥が堆積したところにおいて、白いはさみと青色の胸は鮮やかで、ハサミを上下するウェービング動作は見えて飽きません。唐原川河口は以前は泥がたくさんあり、足を踏み入るとめり込んだ足が抜け出せなくなるような所でしたが、沖合の人工島工事着工後は和白海域の潮の流れが変わり、今では泥が砂に置き換わってきました。自然環境の変化はチゴガニの生息域に影響を与えているようですね。でもチゴガニが見つかってよかったね！（山之内）



チゴガニ



ラムサール条約登録を求める署名にご協力を!

次回2015年のラムサール条約締約国会議で和白干潟が選ばれるように、福岡市と環境省に対し、昨年秋から署名活動を始めています。第1次集約は2013年12月です。皆様のご協力をよろしく申し上げます。お問い合わせは和白干潟を守る会まで。

「エコパークゾーン水域利用連絡会議」主催海上安全指導パトロール参加

7月28日(日)、大岳渡船場から2隻のボートと2機の水上バイクに分乗して出発した。途中違法の水上バイクなどが入り込む場所や、他地区から来ている改造貝掘り船などの説明を受けながら進んでいった。境界線となる海の中道大橋を通過し、しばらく進んだところで停止監視していると、1隻の水上スキーを引くウエイクボードが海の中道大橋を通過してきた。船はパトロール船に気づいたのか少し進んだところでUターンして戻っていった。



次にカヤックが1艇、干潟の方から進んできたが、この違反者に対してはルール遵守の協力依頼を行った。初めて海上安全指導パトロールに参加して、この時期、たくさんの海を楽しむ人達が集まってくること、また、事故も多く発生し、それに対応する人達がいること、いたずらに追跡して事故を誘発する危険など、パトロールの難しさを感じた。(鞠子)

和白干潟のラムサール条約登録を求める署名活動



2012年秋から和白干潟のラムサール条約登録を求める署名活動を始めて早1年、これまで署名をお寄せいただいた皆様、有り難うございます。開始当初は郵送や観察会やクリーン作戦の機会にお願いしていましたが、今年5月からは、もっと地元の方々に知ってもらおうと、毎月1回、東区で街頭署名活動行っています。香椎駅周辺や福工大前駅周辺で行いましたが、和白干潟を知っている人も多く、高校生や大学生が積極的に応じてくれます。8月末現在までの署名数は7,000名ほどで、今年12月の第一次集約まで、2万名を目標に活動して行きます。署名用紙は和白干潟を守る会ホームページからも取り出すことができますので、ご協力よろしくお願いたします。(山之内)

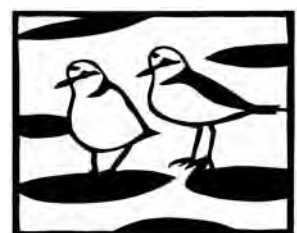
和白干潟のエコチャレンジ「アオサのお掃除大作戦!!2013」報告

「和白干潟保全のつどい」主催で2013年第1回アオサのお掃除大作戦が9月21日、和白干潟で行われました。イオン・チャーズクラブの子どもたち59名を含め全体で92名の参加があり、アオサ130袋を回収しました。雲一つない快晴でした。アオサの説明が終わったあと、沖合いに向かいました。干潟沖は一面アオサで覆われていました。30分ほど全員でアオサを回収。子どもたちもアオサをネットに入れ、そりに積んで仮置き場まで運びました。そりに3袋も積んで運ぶ子どももいました。その後仮置き場のアオサを全員でリヤカー、一輪車、そりなどを使ってゴミ置き場まで運びました。回収作業が終わって、子どもたちは干潟の生きもの観察をしました。(山之内)



守る会問い合わせ窓口 ホームページ:<http://www14.ocn.ne.jp/~hamasigi/>

入会 / 観察会 (申込等)	山之内 芳晴	Tel/Fax. 092-944-1543
クリーン作戦	田辺 スミ子	Tel. 090-1346-0460
会費	田中 貞子	Tel/Fax. 092-606-5588
干潟まつり	今村 恵美子	Tel/Fax. 092-942-5282
広報 / 調査 / 定例会議	山本 廣子	Tel/Fax. 092-606-0012



お知らせコーナー

キヤノン「未来につなぐふるさとプロジェクト」 〔クリック募金〕実施中! (1/29 ~ 12/13)



「福岡県」の「和白干潟を守る会」に毎日1クリックをお願いします。

内訳：1円は和白干潟を守る会に、1円は東日本大震災義援金」として
寄付されます。守る会のHPか、キヤノンのHPから

<http://cweb.canon.jp/csr/donation/index.html>

たくさんのおアクセスをよろしく!

定例スケジュール

定例会議 (10/26, 11/23, 12/21)

毎月第4土曜日10時半～13時 守る会事務所にて開催。
12月は第3土曜日。

以下は参加自由です!仲間が待っています!

クリーン作戦と自然観察 (10/26, 11/23, 12/21)

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合
長靴があると便利。駐車場なし。12月は第3土曜日。

和白海岸探鳥会 (10/13, 11/10, 12/8, 1/12)

毎月第2日曜日9時～12時 JR和白駅前公園集合
主催：日本野鳥の会福岡支部 参加費：一般は300円、中学生以下は無料 駐車場なし

会員募集中!

年会費 個人 2,000円

団体 5,000円

カンパの協力お願い
郵便振替01720-4-23860
和白干潟を守る会

ボランティアへのお誘い

和白干潟を守る会のボラン
ティア活動に参加して、新たな
自分を見つけませんか?あな
たの経験や知識や技術が、き
っと活かされますよ!

和白干潟の鳥たち(その64)

アオアシシギ(シギ科 / Greenshank) 青脚鶺 [全長32cm]



(写真撮影：三宅 僚)

旅鳥で、春と秋に和白干潟に立ち寄りま
す。唐原川河口や奈多のクリーク、雁の巣
の干潟でもよく見かけます。浅い水辺で小
魚やカニなどをとっています。アオアシシ
ギの名前は「脚の青いシギ」の意味ですが、
青は古語で「緑」のことだそうです。オリ
ブ色に近い緑色をしています。「チョー
チョー」と口笛のような声で鳴きます。全
体にすらっとして脚が長く、白っぽい姿の
アオアシシギを、私は「干潟の貴公子」と
名づけました。まだ暑さの残る夏の終わり
頃に和白干潟へ訪れて、秋の到来を告げ
ています。(山本 廣子)

【編集】 山本 廣子・山之内 芳晴・今村 恵美子・高田 将文

《カット》くすだ ひろこ 次号は2014年1月中旬に発行予定

【編集後記】 いやー今年の夏は本当に暑かったですね。さすがの私も少々バテ気味で・・・

と思ったら体重が少し増えていました。和白干潟の保全活動と自転車通勤で痩せるぞーッ。
(高田 将文)

